

# BRIDGE KIDS PROGRAMS 2023

# HOMESTAY

# GUIDEBOOK

APCCホストファミリー向け  
ホームステイガイドブック 2023



# **BRIDGE KIDS PROGRAMS 2023**

ブリッジ サマーキャンプ

## **Homestay Guidebook**

ホームステイガイドブック もくじ

1. アジア太平洋こども会議・イン福岡（APCC）とは？	1
2. 参加する国・地域について	2
【重要】海外参加者の ID ナンバーについて	3
3. 準備＆ホームステイ期間のスケジュール	4-7
4. 国別ミーティングについて	8-9
5. ホームステイ期間中 過ごし方のヒント	10-12
6. こんな時どうする？トラブル体験談	13-14
7. 宗教や慣習の違いを理解しよう	15
8. 帰国前の準備について	16

### **【参考資料】**

- ・APCC 用語集
- ・アジア太平洋こども会議・イン福岡 招聘要項
- ・テーマソング ♪We are the BRIDGE♪ 歌詞（日本語・英語）

このガイドブックに掲載されている文書や画像などの各ファイルとその内容に関する諸権利は、原則として APCC に帰属し、法律等によって保護されています。「私的使用のための複製」や「引用」など、著作権法上認められる場合を除き、APCC の許可なくこのガイドブックに掲載されている文書、画像などを無断使用、複製、転載、販売、改変、印刷配布することを禁止します。

# 1. アジア太平洋こども会議・イン福岡（APCC）とは？

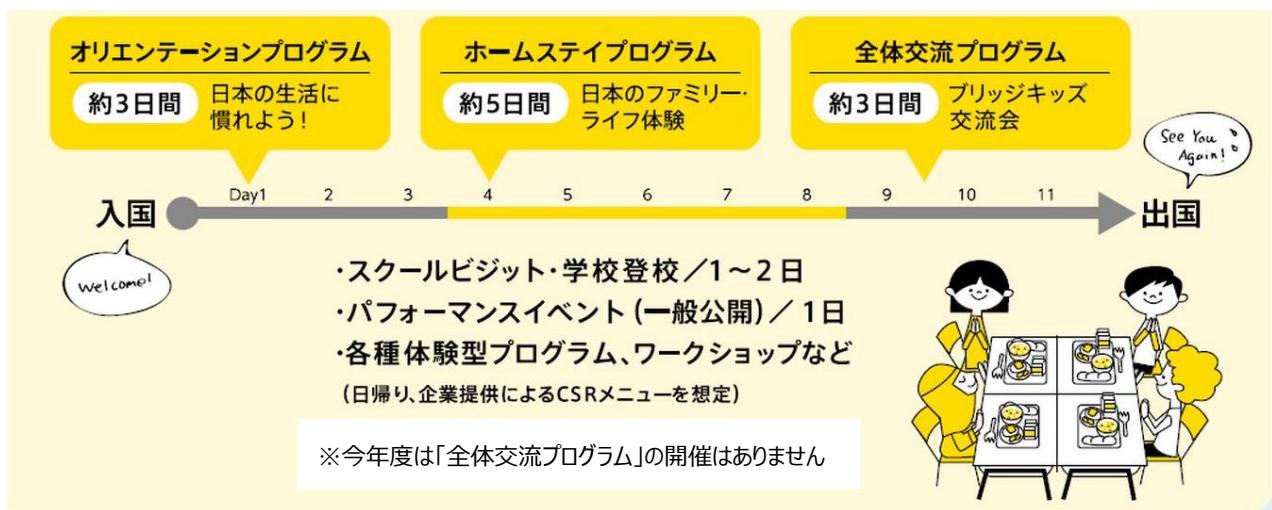
## 1. APCC とは？

「アジア太平洋こども会議・イン福岡」とは、1989 年に、福岡市制 100 周年を記念して開催された「アジア太平洋博覧会（通称：よかトピア）」の参加事業としてスタートし、福岡をベースに展開している民間レベルの草の根国際交流事業です。「APCC」は英語名「Asian-Pacific Children's Convention in FUKUOKA」その頭文字を取り、親しみをこめて「APCC」と呼ばれています。APCC の事業は、こども達を対象に、国内外でのホームステイや学校体験など様々な交流機会を提供し、言葉や習慣の違いなどに触れ、お互いを分かり合う「OMOYARI（思いやり）」の心を育んでいます。2018 年、30 周年を迎えたことを機に、新たに事業総称を「BRIDGE KIDS PROGRAMS」とし、より多くの福岡のこども達が参加できるような交流機会の拡充を図っています。

## 2. BRIDGE KIDS PROGRAMS（ブリッジキッズプログラムズ）とは？

「BRIDGE KIDS PROGRAMS」では毎年夏に世界各地から招いた 200 人以上の 11 歳の“こども大使”と引率者が福岡の街全体をキャンプ地とみたて、ダイナミックな異文化交流を繰り広げるプログラム「ブリッジサマーキャンプ」を行います。およそ 2 週間の期間中、日本の気候や生活に慣れるための「オリエンテーションプログラム」、日本の家庭や学校を体験する「ホームステイプログラム」福岡のこどもも加わって寝食を共にしながら交流を深める「全体交流プログラム」、この 3 つのプログラムを福岡県内各地で実施します。

このうち、皆様には「ホームステイプログラム」のホストファミリーとして、こども大使やシャペロンが日本の一般家庭での生活や学校登校を体験するとともに、彼らの国や地域の文化にも触れ合いながら、お互いに異文化交流を楽しむ時間を過ごしていただきたいと考えています。



## 3. 誰が運営しているの？

公的機関からの助成金や民間企業からのご協賛、APCC 事業を財政面から支援している「支援の会」からの助成など、様々な機関からご支援をいただき、「BRIDGE KIDS PROGRAMS」が運営されています。

そして、この事業を支える大切な存在が 市民ボランティア です。毎年、社会人・学生・主婦・シニアなど幅広い年齢層の方々、延べ 500 名の皆さんのがボランティアにご登録いただき、黄色のボランティアポロシャツを着て、活躍しています。各事業の主なボランティアは様々なグループ（部会）に分かれて活動をしています。

この他に、「NPO 法人 アジア太平洋こども会議・イン福岡」の専従職員が、各プログラムのコーディネーターとして事務局に常駐しています。コーディネーターは、担当部会のボランティアメンバーと協力しながら、事業が円滑に進むよう取り組んでいます。

## 2. 参加する国・地域について

・**招聘国・地域数** … **34** か国・地域より、**41** 団

・**招聘人数** … **こども大使 (JA)** **164** 名、**シャペロン (CP／引率者)** **41** 名

(その他、**BC プレジデント** 17 名、**BC マネージメントチームメンバー** 3 名)

M…男性、F…女性

	国・地域名	JA	CP	BC		国・地域	JA	CP	BC
1	中国	4	F	-	24	キリバス	4	F	-
2	韓国	4	F	-	26	パプアニューギニア	4	F	F
3	香港	4	M	-	27	ソロモン諸島	4	F	-
4	台湾	4	F	M	28	パラオ	4	F	-
5	シンガポール	4	F	-	29	バヌアツ	4	M	-
6	フィリピン	4	F	F	34	ミクロネシア	4	F	-
7	タイ	4	M	-	35	ミャンマー	4	M	F+F
8	マレーシア	4	F	-	38	タヒチ	4	F	-
9	インドネシア	4	F	M	39	トンガ	4	F	-
10	ベトナム	4	F	-	40	モルディブ	4	M	-
11	バングラデシュ	4	M	M	41	ツバル	4	F	-
12	ブータン	4	F	M	46	カンボジア	4	F	M
14	パキスタン	4	F	F+M	50	★広州市（中国）	4	F	
15	インド	4	F	F	51	★イポー市（マレーシア）	4	M	M
16	ラオス	4	F	-	53	★釜山市（韓国）	4	F	-
17	ネパール	4	F	M+F	54	★アトランタ市（アメリカ）	4	F	M
18	モンゴル	4	F	-	57	大連市（中国）	4	F	-
19	スリランカ	4	F	F	59	ペルー	4	F	F
20	オーストラリア	4	F	F	60	ホーチミン（ベトナム）	4	F	-
21	ニュージーランド	4	F	-	61	キルギス	4	F	-
22	ハワイ	4	F	F	<b>合計</b>		<b>164</b>	<b>41</b>	<b>20</b>

※ ★マークは、福岡市の姉妹・友好都市、福岡県の友好提携自治体及び国内の友好団体としての、特別招聘地域です。

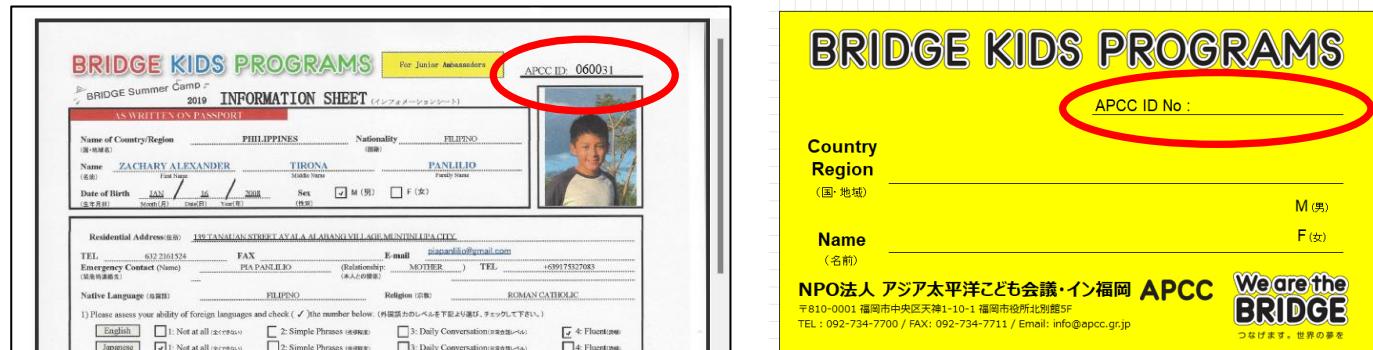
※ 各団のこども大使の数は、男女それぞれ 2 名ずつです。

※ 途中、国番号が飛んでいますが、国を表す APCC 固有番号のためであり、間違いではありません。

## 【重要】海外参加者の ID ナンバーについて

APCC では、参加者のデータを管理するにあたり、全ての海外参加者（こども大使・シャペロン・BC プレジデントなど）に 6 ケタの番号を割り振っています。

ホームステイ期間中、APCC 事務局にお問い合わせいただく場合、海外参加者についてお問い合わせいただく場合には、ID ナンバーをお伺いすることができます。後日配布されるこども大使・シャペロンのインフォメーションシートや、参加者が着用している名札に記載されています。ID ナンバーは、特に緊急の場合などに、迅速な対応のために不可欠です。必ず事前にご確認をお願いします。



The image contains two side-by-side screenshots of a digital application form for the BRIDGE KIDS PROGRAMS.

**Left Screenshot (Information Sheet):** Shows a sample application form with various fields filled out. A red circle highlights the "APCC ID No. 060031" field, which contains a photograph of a young boy.

**Right Screenshot (APCC ID No.):** Shows a simplified version of the form focusing on the "APCC ID No." field. This field is also highlighted with a red circle.

### <ID ナンバーの見方>

- (1) 左からはじめの 2 ケタは**国番号**です。国番号は、前ページの表をご参照ください。
- (2) 次の 1 ケタは**役割**を表しています。こども大使は「**0**」、シャペロンは「**1**」が、割り当てられます。
- (3) 次の 2 ケタは人数を表す**個人番号**で、こども大使には「**01**」～「**04**」のいずれか（男子…01～02、女子…03～04）シャペロンのは「**05**」が割り当てられています。
- (4) 最後の 1 ケタは**性別**に応じて、男性=「**1**」、女性=「**2**」が当てられます。

<例：ID ナンバー **120011** の場合>

**12** ..... 国番号 (=ブータン)  
**0** ..... 役割 (=こども大使)  
**01** ..... 個人番号 (=団で 1 人目)  
**1** ..... 性別 (=男性)

<例：ID ナンバー **341052** の場合>

**34** ..... 国番号 (=ミクロネシア)  
**1** ..... 役割 (=シャペロン)  
**05** ..... 個人番号 (=団で 5 人目)  
**2** ..... 性別 (=女性)

### 3. 準備＆ホームステイ期間のスケジュール

準備～ホームステイ期間のスケジュールは、現時点では以下の通りです。今後変更の可能性がありますので、常にAPCCからの最新情報をご確認ください。

#### ＜準備期間＞

日時	イベント・行事名	時間・場所
5月21日（日） 13:00～15:30	<b>ホストファミリー説明会・ホストファミリー研修</b> (対象：全ホストファミリー)	オンライン開催（Zoom）
5月～7月	<b>国別ミーティング</b> (対象：全ホストファミリー)	時間・場所は、各団にて決定 ※月に1回程度の開催が理想
6月4日（日） 14:00～15:30	<b>第1回 ホストファミリー リーダー会</b> (対象：各団のホストファミリー リーダー)	博多バスターミナル 9F 会議室 (JR博多駅横 バスターミナル内)
6月25日（日） 14:00～15:30	<b>第2回 ホストファミリー リーダー会</b> (対象：各団のホストファミリー リーダー)	
7月2日（日） 14:00～15:30	<b>ホストファミリーのつどい（最終説明会）</b> (対象：全ホストファミリー)	オンライン開催（Zoom）
8月～9月（未定）	<b>第3回 ホストファミリー リーダー会</b> (対象：各団のホストファミリー リーダー)	対面 または オンライン開催 ※詳細は決まり次第、お知らせします

#### ＜ブリッジサマーキャンプ開催期間中＞

月	日	曜日	イベント・行事名	場所・時間
7月	14	金	入国 → オリエンテーションキャンプ	海ノ中道青少年海の家 (通称：マリンハウス)
	15	土		
	16	日		
	17	月・祝		
	18	火	スクールビジット（※一部） 対面式 → <b>ホームステイ開始</b>	※場所・時間は、団によって異なります。 詳細は別紙を参照してください。
	19	水	ホームステイ・学校登校	各家庭／各小学校
	20	木	ホームステイ・学校登校	
	21	金	ホームステイ・学校登校 (午後) パフォーマンスイベント “We are the BRIDGE フェスティバル 2023”	各家庭／各小学校 福岡市天神・ソラリアプラザ1F イベントスペース“ゼファー”
	22	土	ホームステイ	各家庭
	23	日	ホームステイ～帰国（午後以降）	福岡空港 国内線・国内線ターミナル ※帰国日、集合時間は、団によって異なります。 詳細は別紙を参照してください。
	24	月	ホームステイ・帰国	
	25	火	帰国	

## 1. 入国 (7/14 金～16 日)

こども大使・シャペロンは、決められたスケジュールに沿って、各国・地域より、福岡へやってきます。入国後は、すぐにオリエンテーションキャンプに向かうため、ホストファミリーさんのお迎えはありません。



## 2. オリエンテーションキャンプ (7/15 土～7/18 火)

入国したこども大使・シャペロンは、福岡市・東区の海ノ中道青少年海の家（通称：マリンハウス）に向かいます。オリエンテーションキャンプの主な目的は、以下の通りです。

- ・長旅の疲れや時差ボケから回復し、プログラム参加に向けて体調を整える
- ・APCC のボランティアさんと一緒に生活しながら、日本の気候や基本的な生活習慣を学ぶ
- ・他の国・地域からやってきたこども大使たちと交流する



## 3. スクールレビジット (7/18 火) ※一部の団のみ参加

オリエンテーションキャンプを終えたこども大使・シャペロンは、ホストファミリーさんとの対面式まで、様々なプログラムに参加します。その一つが、「スクールレビジットプログラム」です。スクールレビジットプログラムは、APCC と福岡市教育委員会との共催事業で、こども大使・シャペロンが、国ごとに福岡市内にある小学校を訪問し、1 日国際交流をします。



スクールレビジット以外に、表敬訪問、スポンサー企業・団体の CSR 活動のプログラムなどに参加する団もあります。

#### 4. 対面式 (7/18 火 夕方) ※場所や時間は、団によって異なります。

対面式は、こども大使・シャペロンとホストファミリーさんが、初めて出会うタイミングとなります。いよいよホームステイのスタートです。



#### 5. ホームステイプログラム (7/18 火 夕方 ~ 25 火 ※最長の場合)

ホームステイプログラムは、こども大使が一般家庭にホームステイし、日常生活を通じて、異文化体験や国際交流を深めることを目的としています。公園に行ったり、習い事に同行したり、お家でゲームをしてみたり、普段通りの生活をしてください。家族の一員として、ぜひお手伝いなども一緒にさせてみてください。信仰する宗教によっては、禁制食（食べられないもの）やお祈りの時間などがある場合があります。詳しくは、本ガイドブックの 15 ページをご覧ください。



#### 6. 学校登校 (7/19 水 ~ 21 金)

ホームステイ期間中は、ステイ先のホストフレンドと一緒に、小学校に登校し、机を並べて、一緒に勉強します。学校登校は、こども大使が、ホームステイ先の家庭のお子さん（ホストフレンド）と同じ学校に通い、日本の小学校生活を体験しながら、同年代の日本のことども達と交流させていただくことを目的にしています。



## 7. パフォーマンスイベント “We are the BRIDGE フェスティバル” (7/21 金 午後)

こども大使たちは、福岡の一般市民の方々に向け、自国の文化や伝統を発信するため、歌や踊りのパフォーマンスイベントを行います。今年の開催は、夏の暑さ等を考慮して、屋内の開催を予定しております。パフォーマンスの内容によっては、大掛かりな衣装や小道具、メイクなどの準備が必要になります。

※ステージの出演時間や、パフォーマンス前の集合時間などにつきましては、6月のリーダー会で詳しくお知らせいたします。



## 8. 帰国 (7/23 日 午後 ~ 25 火)

帰国は、福岡空港の国内線ターミナル、または国際線ターミナルより出発します。

指定の時間に、空港まで見送りをお願いします。

見送りには、ホストファミリーさんだけではなく、こども大使やシャペロンの滞在中に、彼らにかかわったすべてのボランティアさんや関係者が、空港に来る可能性があります。ぜひ、みんなで温かく見送ってあげられるよう、ご協力をお願いします。



## 4. 国別ミーティングについて

### 1. 国別ミーティングの目的

APCC のホストファミリーでは、同じ国のことども大使・シャペロンを受けるホストファミリー同士が、ひとつのグループとなり、ホームステイを受け入れます。ホームステイ期間中は、予期せぬトラブルがつきものです。その際、同じ団の家族同士でサポートしあえる信頼関係、協力できる体制を作るのが、国別ミーティングの目的です。

### 2. 何をやったらしいの？

#### 1. 役割分担

グループの円滑な活動のため、各グループで役割分担を行いましょう。

リーダー	1名	主に、事務局からの連絡やホストファミリーリーダーでの伝達事項を、他のファミリーの皆さんにお伝えいただく連絡係です。
サブリーダー	1名	リーダーに負担が集中しないよう、リーダーをサポートします
対面式係	2名	7/18 の対面式の際、ホストファミリーことども大使・シャペロンの対面やマッチングを行います。（シャペロンホストファミリーは、当日シャペロンに確認する事項などを、各ファミリーにお伝えすることがあるため、対面式係がおすすめです。）
会計	1名	グループでどのようにお金を管理するかはお任せしております。例えば、事前に各家庭から決まった額を少し集め、リーダー会に参加された方の交通費や、ウェルカムパーティなどの費用にあてると、運営がスムーズに進むようです。

#### 2. 話し合う内容の例

1回目 (5/21 研修会)	<input type="checkbox"/> 自己紹介 <input type="checkbox"/> グループでの役割分担 <input type="checkbox"/> お互いの連絡先交換 <input type="checkbox"/> 今後の連絡手段の決定 <input type="checkbox"/> 次回のミーティング日時の設定
2~3回目 (6~7月)	<input type="checkbox"/> ガイドブック（本誌）の読み合わせ <input type="checkbox"/> ホストファミリーリーダー会での連絡事項の伝達 <input type="checkbox"/> 準備・期間中のスケジュール決め <input type="checkbox"/> ウェルカムパーティー／お別れパーティーは開催する？しない？ <input type="checkbox"/> 期間中に、グループで一緒に何か行事を企画する？しない？ <input type="checkbox"/> 次回以降の国別ミーティングは、いつ、どこで、どうやって実施する？ <input type="checkbox"/> ウェルカムグッズの作成（フラッグ、キャンディレイ、ウェルカムボードなど） <input type="checkbox"/> 受入国の文化・習慣についての勉強、情報交換 <input type="checkbox"/> 受入国の言葉、簡単な日常表現を学ぶ <input type="checkbox"/> 各グループでのルール決め（SNSの利用（特に写真の取り扱い）、各家庭のルール、緊急時の対応） <input type="checkbox"/> その他、何か困っていること、わからないこと等の相談
帰国後 (7~8月)	<input type="checkbox"/> 期間中の反省（来年度への引き継ぎアンケートの作成） <input type="checkbox"/> 来年、同じ国を受け入れるホストファミリーへの引継ぎ事項のまとめ、など

### 3. どこでやつたらいいの？

どこでやらないといけない、という決まりはありません。利便性がよく、距離・金銭的な負担があまりかからないところ、例えば、地域の公民館・コミュニティセンターなどの公共施設や、ショッピングセンターのフードコートなどで実施されている方が多いようです。

場所や時間の都合がつかない場合には、Zoomなどのオンラインミーティングを活用するのも一つの方法です。ただ、ホームステイ期間中にお互い助け合えるよう、ホームステイ開始前には必ずホストファミリー同士が対面してミーティングを行う機会を持っていたくようにお願ひします。

### 3. ウエルカムグッズのアイディア

こども大使やシャペロンとの対面式に向けて、下記のような「ウェルカム！」の気持ちを表すグッズを作成する団もあります。大人の皆さんのが国別ミーティングをしている間、ホストフレンド同士が協力して作業をすることで、仲良くなるきっかけにもなります。

#### ウェルカムフラッグ

対面式などで、初めて対面するときに掲げたり、ウェルカムパーティーを開催する際に、飾ったりします。以前は、空港でこども大使たちの到着時に利用するために、各団にウェルカムフラッグを作成していただき、APCC が回収・返却しておりました。約 90cm x 70cm ほどの「シーチング布」を使用し、受け入れるこども大使・シャペロンの国の言葉で「ようこそ」という言葉を、デザインの中に入れていただいていました。今年の作成については、各団の自由（任意）となっております。



（空港工事の関係で APCC によるフラッグの回収・返却はありません。）

#### 【重要】国旗使用に関する APCC ルールについて

APCC では、外務省からの指導に基づき、公式行事において各国の「国旗」は使わないことになっております。団でフラッグ作成し、対面式等で使う予定がある場合には、国旗の絵やイラスト等は使用しないようにお願い申し上げます。



#### その他のウェルカムアイディア

キャンディレイは、定番のウェルカムグッズです。

小ぶりのお菓子やキャンディを、リボンや透明なセロファンなどを使って、首飾りのようにつなげ、歓迎の気持ちを伝えます。

インターネットに、いろいろな方法やデザインの作り方が出ていますので、ぜひオリジナルのキャンディレイを作ってみてください。



また、**ウェルカムボード** や **ウェルカムうちわ** なども、よくホストファミリーの皆さんのが作られています。ご自宅にある不要なうちわなどを使い、こども大使やシャペロンの名前、「Welcome」の言葉や、シャペロンの国の言葉で、「こんにちは」という言葉を書いたり、折り紙などでデコレーションします。各自で作成したウェルカムグッズは、忘れずに 7月 18 日の「対面式」にお持ちください。

## 5. ホームステイ期間中 過ごし方のヒント

APCC のホームステイの目的は、「日本では、自分と同年代の子どもがどんな生活をしているのか、一般のご家庭にホームステイして、実際に経験しながら理解することです。また、同時にホストファミリーの皆様にとっても、子ども大使やシャペロンの存在は、異文化そのものです。お互いが無理せず快適に過ごせるよう、下記の項目をヒントにしてみてください。

### 1. ホームステイ編

#### 家庭でのルール（ハウスルール）

シャペロンや子ども大使は、滞在中お客様としてではなく、家族の一員として過ごします。まず初めに守ってほしいルールがあれば、きちんと説明しましょう。ゲームの時間やお手伝いなど、子ども大使もホストフレンドと同様、家庭でのルールを守ってくれるように、しっかり話しましょう。また、APCC のルールで、子ども大使は携帯電話やゲーム機は持てることになっています。ご家庭のお子さんがそういうものを普段利用している場合、ホームステイ中の利用に関しては、ご家庭でもご配慮をお願いします。

また、日本人にとって常識であることも海外の人にとってはそうでないこともあります。お互いが気持ちよく過ごせるよう、意見はしっかり伝えあいましょう。

#### 家族の紹介をしましょう

家についてたら、家族の紹介をしましょう。子ども大使にとって、日本人の名前は、あまりなじみがなく、覚えにくいものです。家族の名前や呼び方を紙に書いて渡してあげると、名前も覚えやすいようです。

また、翌日からの学校登校に備えて、子ども大使の名前もカタカナで書いて教えてあげると、理解しやすいと思います。

#### 家の中を紹介をしましょう（ルームツアー）

家族の紹介や荷物の整理が終わってホッと一息ついたら、家の中を案内しましょう。トイレの位置やお風呂の使い方の説明をしたり、自由に使ってよいものや、逆に触ってほしくないもの、入ってほしくない部屋などがあれば、しっかりと伝えましょう。家の中に慣れるまでは、右のようなサインを各部屋やトイレなどに付けてあげるのも、わかりやすいひとつの工夫です。



#### ★Check Point★ お手洗いの使い方について

イスラム教やヒンドゥー教を信仰する国や地域では、お手洗いを利用する際、日本とは異なり、トイレットペーパーを利用しません。手で水洗いをするため、専用の小さいハンドシャワーがお手洗いの近くに設置されていることも多く、床は水洗いができるような仕様になっています。そのため、水でトイレや床が濡れることが日常的に当たり前なので、日本でも同じように行動してしまうことがあるかもしれません。

日本は、そのような使い方をしない文化であることを、まずしっかり伝えましょう。

ご自宅のお手洗いに「ウォシュレット」がついている場合には、それで対応できることもあるので、使い方を教えてあげてください。それでも、初めは使い方に慣れないこともあるかもしれないので、お手洗いに、**水の入ったバケツ** と **水がすぐえる小さめの洗面器**、または、**水が入ったペットボトル** などを置いてあげると安心すると思います。

それでも水でお手洗いスペースを水で濡らしてしまうこともあるかと思いますので、古いタオルなども一緒に置いておき、「トイレを使った後、水で濡れたら、これで拭いておいてね」と最初に教えてあげてください。また、マットやカバーなども最初から撤去しておくことをおすすめします。ホームステイ翌日から始まる学校登校や外出の際には、トイレ対応に困らないよう、水を入れたペットボトルを持参させてあげると安心すると思います。

また、日本のようにトイレットペーパーを流すことができる国は、世界でも少数派です。多くの国では、トイレットペーパーを流すことが禁止されており、お手洗いに設置されたごみ箱に捨てます。日本では、ペーパーはそのまま流してもよいことも教えてあげてください。

### 外出は、体調を考慮しましょう

せっかく福岡へやってきたこども大使やシャペロンを、あちらこちらへ案内したい！という気持ちもわかりますが、こども大使・シャペロン滞在中の計画は、ぜひ彼らの体調を考慮して計画してください。こども大使やシャペロンは、世界中から集まった他の国のかども大使達との交流キャンプを終えて、ホームステイにやってきます。初めてホストファミリーに会う緊張や、慣れない日本の暑さ、全く違う環境に対応するストレスなどで、疲労や体調不良を起こしてしまうこともあります。そんな時は無理に外出せず、家の中や家の周りで過ごすようにしてください。

### 時間やスケジュールは余裕をもって…

日本人は時間に正確であろうとしますが、国によって時間の観念には大きな違いがあります。学校登校、待ち合わせなど、集合時間が決まっている外出には、しっかりと出発時刻を伝え、時間にはゆとりをもってご準備下さい。

また、自分の行動予定がわからないと、こども大使もシャペロンも不安になります。今日は（明日は）何をするか、どこへ行くか説明してあげてください。

### お互いに無理をしないことが、とても大切

スーパーへの買い物、一緒に料理を作ってみる、近所の子どもたちと公園で遊ぶなど、身近なことが大きな思い出になることも珍しくありません。中には、お出かけなどを計画してくださるご家庭もあるかもしれません、金銭的にも体力的にも無理の無い範囲をお願いします。また、こども大使・シャペロンとも、私的な買い物や個人的な行動に伴う費用は、自分で負担するようになっています。こども大使・シャペロンはお客様ではありません。過度に気を遣ったり遠慮したりせず、「親戚の子が来た！」くらいの心構えで、気軽に接してあげると良いと思います。



## 2. 学校登校編

### 学校にはどのように伝えればよいですか？

決定通知の書類に、「学校登校依頼書」を同封しています。書類がなくても受け入れ可能な学校もありますが、必要な場合はご提出ください。受け入れるこども大使・シャペロンの個人情報は、6月ごろお渡しする予定です。

学校登校は、学校側の理解や協力の上に成り立つ任意の取り組みとなります。日程などの関係で、学校から登校の許可がおりなかった場合は APCC 事務局へご相談ください。



### 学校の受け入れが決まつたら？

学校登校の目的は、「日本の小学校生活を体験すること」なので、基本的にはホストフレンドと一緒に行動し、同じ授業を受けます。学校側には、特別な時間割や歓迎行事を計画していただく必要はありません。

学校登校をお受けいただけた場合、時間割が午後までかかる日はこども大使も昼食が必要になります。学校に直接ご相談いただき、こども大使の給食をご用意いただける場合は、対応をお願いします。（大変恐れ入りますが、こども大使の給食費は各ホストファミリーで負担をお願いしております）対応が難しい場合、またメニューに **禁制食**（きんせいしょく／宗教によって食べられないもの）が多く含まれる場合は、大変お手数ですが、こども大使にお弁当を持参させるなどの対応をお願いします。



学校の先生がよく心配されるのが、「こども大使（シャペロン）が学校登校中にケガをしたり、物を壊したりした場合は、どうしたらいのですか？」という質問です。福岡にやって来るこども大使・シャペロンは全員「海外旅行保険」に加入しています。ケガや病気、物品の破損などについては保険でカバーされます。学校の児童と同じように接していただければと考えています。

### その他、学校生活について

学校生活に必要なものがあれば、学校側にご確認の上、こども大使に伝えて、準備をさせてください。もし、こども大使が持参していないものがある場合には、大変恐れ入りますが、ご自宅にあるものをこども大使に貸していただけますよう、お願い申し上げます。

（例）・給食に必要なもの（水筒・ランチマット・お箸・スプーンなど）

※給食のメニューに、禁制食・アレルギー食材が含まれる場合は、お弁当を持たせていただくようお願いします。

また、水泳の授業がある場合に必要になるもの（水着など）や、室内履きのシューズなどは、事前にこども大使の家庭にメールなどで伝えておくことで、各自持参してもらっているご家庭もあるようですので、ご参考にされてください。

## 6. こんな時どうする？トラブル体験談

ホストファミリーさんには、今回が初めてのホストファミリー経験というご家庭も多くあります。また、海外を訪れることが初めてという子ども大使も多くいます。トラブルやうまくいかないことも、きっとあります。そんな時は、悩まずに同じ団の他のホストファミリーさんや、APCC 事務局にご相談ください。ここでは、APCC からのアドバイスと先輩ホストファミリーさんの体験をご紹介します。

### ホームシックになってしまった！

子ども大使は、まだ 11 歳。自国の家族が恋しくなって当然です。「ホームシックには、必ずかかるもの」と思っておけば、慌てることはありません。優しい気持ちと明るい笑顔で包んであげてください。ホームシックで涙を流していた子ども大使たちからは、後日「その時にホストファミリーからかけられた言葉が、とても心に残っている」という声が多く聞かれます。

この際、自国の家族と連絡を取らせるることは、かえって逆効果になることが多いです。どうしても子ども大使が立ち直れない場合には、ホストファミリーだけで悩まずに、シャペロンに電話をしてみたり、同じグループのファミリーに相談してみましょう。

#### ＜ホストファミリーからの体験談＞

- ・そつとしておき、気が済むまで泣かせてあげた。泣いた後は案外ケロッとしていたので、普段通りに接した。
- ・子ども達に任せた。ゲームなどを一緒にしたりしてワイワイしているうちに、気がまぎれてきたようで、笑顔になった。
- ・近くに住んでいる別の子ども大使のホームステイ先に遊びに行った。

### ご飯を食べない…何を食べさせたらいいかわからない…

元々とても少食な子ども大使もいますので、様子を見てみてください。私たち日本人もそうであるように、海外に行った際、「これはいったい何だろう…？」と不安に思うものは、警戒して手を付けられないこともあります。とても手間のかかった料理を作ったのに、全然食べもらえない、ショックも大きいものです。パッと見て何が入っているかわかるものや、世界共通のもの（例：たまご・パン・果物など）は、子ども大使も安心して口にできると思います。それでも食が進まない場合には、子ども大使の好きな食べ物を直接本人に聞いてみたり、食卓にバナナなどを置いておいて、「おなかが空いたら、好きな時に食べていいよ」と伝えておくのも一つの方法です。

また、日本人と違い、「真っ白なごはん」が苦手な海外参加者は意外と多いです。味がついていると食べられることもあるようなので、苦手そうなときには量を減らしたり、ふりかけなど味変できるものを食卓に置いておいたりすると、食べられることがあるようです。

#### ＜ホストファミリーからの体験談＞

- ・一緒にスーパーに行き、「食べたいものを、持っておいで！」と伝え、自分で選ばせた。
- ・料理のお手伝いをしてもらい、一緒に作った。
- ・世界のどこにでもある、マクドナルドに連れて行った。フライドポテトは野菜なので、ベジタリアンでも食べられる！
- ・何か 1 つでも食べられたものがあればラッキー！くらいの気持ちでいることが大切。とりあえず何かをしっかり食べられれば、多少バランスが悪くても良しとする。

### スマートフォン等の持参について

APCC では、福岡での滞在中に、子ども大使が日本から自国に連絡をとること、子ども大使の家族が自国から連絡をとることを禁

止しています。またそれを容易にする携帯電話・スマートフォン等の持参も禁止しています。短い期間ではありますが、せっかくの日本滞在の時間を満喫してほしい、また異文化での生活に、自立心を持ってチャレンジしてほしい、という理由からです。こども大使が自国の家族に電話をかけたがる時は、「APCC のルールでは電話はできない」と伝えてください。

近年、カメラ代わりに携帯電話を持参することも大使が増えていますが、**APCC では、カメラ利用が目的であっても、携帯電話・タブレットなどの通信機器の持参そのものを禁止しています。**持参や使用が見受けられる場合には、こども大使に直接注意していただくか、シャペロンにご相談ください。

### 買い物にはばかり行きたがってしまう…

APCC が定めたこども大使の参加条件には、「ホストファミリーがすすんでそうしない限り、買い物に行くことをせがんではいけません」という記載があります。頻繁に買い物に行きたがる場合には、「買い物は、あなたのホームステイのメインの目的ではありません」と本人に伝えてください。

また、自分の個人的な買い物は、自分のお金ですることも、APCC のルールとして伝えています。ホストファミリーのご厚意で買い物に出かけた場合にも、支払いは自分でするように伝えてください。

### 伝えたいことは、しっかり伝えましょう

「察する」「空気を読む」というのは、日本独特の文化です。海外の人、特にこども大使に期待するのは NG です。察する文化のない外国人にとっては、言わないとわからないことはたくさんあります。日本人は遠慮しがちですが、注意したいことやお願ひしたいことは、言葉にしてしっかり伝えることが、よりよい関係を築くための大切なコミュニケーションです。

### こども大使の家族との連絡について

APCC では、ホストファミリーとこども大使の家族間の連絡については、特に制限はありません。事前に聞きたいことがある場合、連絡を取りたい場合には、インフォメーションシートに書いているメールアドレスに連絡していただいてもかまいません。ただ、「メールに何が書いているかわからないので、翻訳してほしい」といった個別のお問い合わせにはお答えしかねますので、ご理解ください。

事前にこども大使の家族と連絡を取っている場合には、ホームステイ期間中にもこども大使のホストファミリーから、「子どもの様子を教えてほしい」という連絡が入る可能性もあります。特にホームステイ期間中は負担にならないようお気をつけいただき、頻繁に連絡が来る場合や、対応が難しい場合などには、しっかり先方にお伝えください。

こども大使たちが福岡に無事到着・帰国したときの報告や、緊急時の連絡は、APCC 事務局より海外の現地窓口を通じて、こども大使の家庭に連絡を行います。特に緊急時には、連絡系統や対応に支障を及ぼしますので、海外の家族への直接の連絡は行わず、必ず APCC 事務局へ連絡してください。

### SNS や個人情報に対する意識の違いについて

個人情報についての感覚や考え方、使い方については、日本と海外で大きな違いがあります。帰国後、こども大使やその家族が日本で撮った写真をすべて SNS にアップてしまい、そこに家族や子供の顔写真、家の中が分かる写真がたくさん含まれていた！というトラブルが、最近よく起こります。帰国前には、APCC からも海外窓口を通じ個人情報の取り扱いについて注意を促しますが、もしご家庭の方針と反するような行為があった場合には、直接こども大使のホストファミリーにお伝えください。

ホストファミリーとしての過ごし方に、正解はありません。ホームステイ受け入れでは、うまくいかないこと・戸惑うことなどたくさんあります。過度に期待したり、理想のイメージと比較しすぎず、無理のないホームステイを心がけてください。

## 7. 宗教や慣習の違いを理解しよう

私たち日本人には不思議に思えるようなことも、宗教上の戒律だったり、それぞれの国特有の慣習だったりすることがたくさんあります。そのような「違い」を理解し、尊重することは、国際的視野を広げることにつながります。

イスラム教、ヒンドゥー教、とひとことに言っても、その生活習慣・風習は、育った環境や家庭によって様々です。ここに記載した内容はあくまでも一般的なもので、**全員に当てはまるものではありません**。特にこども大使の場合は、家庭・個人によっても、その敬虔さの度合いにかなりの差があります。気になることはホームステイが始まってから、本人に直接確認することが最も確実です。

	イスラム教	ヒンドゥー教
食事	<p>宗教上の理由により、<b>豚肉</b>を食べることができません。ハムやウインナー、豚骨スープ、ゼラチンなど、豚由来のものは全て食べられません。また、牛肉や鶏肉についても有資格者の捌いた「ハラルミート」と呼ばれるお肉しか食べられない場合があります。</p> <p>牛乳やバター、ヨーグルトなどは家庭によって違います。</p>	<p>宗教上、牛は神様が乗る動物とされているので、<b>牛肉</b>は食べません。豚肉・鶏肉についても、家庭によって食べる家庭と食べない家庭があります。</p>
入浴	<p>人前で肌を出すことを避けます。そのため、シャワーやお風呂などでも、他人と一緒に入ることは嫌がりますので、ホームステイ初日にお風呂の使い方を教えてあげてください。着替えについても同じです。特に女の子はプールに入れない場合がありますので、学校登校の際やお出かけの際などにはご注意ください。</p>	<p>他人と一緒に入るのを嫌がる場合が多いです。特に女の子は着替えの際も、人に見られるのを避けたがることが多いため、配慮をお願いします。</p>
お祈り	<p>通常、1日に5回のお祈りを捧げます。しかし、旅行中などは、まとめて行ってもよいなど、国や各家庭によっても違いますので、こども大使にまかせてよいと思います。ただ、お祈りをする時はひとりにしてあげる配慮をお願いします。</p>	 <p>紙袋などで、ランドリーバッグ（洗濯物を入れる袋）を作ると、洗濯の際、下着なども出してくれやすいそうです！</p>
ラマダン (断食)	<p>イスラム暦の9月に当たる期間は、日の出から日没までのあいだ、イスラム教徒の義務の一つとして飲食を絶ちます（断食）。本年度のホームステイ期間中は、ラマダンにはあたりません</p>	
ペット	<p>宗教上、犬と豚に触ることはできません。 散歩に一緒に歩いて行く程度はできるかもしれません、お世話などはできないことがほとんどです。</p>	
トイレ	<p>トイレットペーパーを使わず、左手を使って水で洗う習慣があるため、トイレの床や便座を水で濡らしてしまうこともあります。古いバスタオルなどを用意しておくといいでしょう。水で洗えるようにバケツを用意してもいいですが、経験者の方によると、ペットボトルやバケツに水を入れて置いておくと使い勝手がよかったです。また、温水洗浄便座があればよい場合もあります。</p>	
その他	<p>宗教上、左手は不浄の手とされており、左手で握手したり物を差し出したりしない様に注意が必要です。また、こどもの頭をなでることも避けてください。様々な理由で好ましくない行動となります。</p>	

## 8. 帰国前の準備について

【注意】ここに記載したものはあくまでも、**<2023年5月現在>** の情報です。手荷物の持込条件や集合時間などは変更になる可能性もありますので、最新情報は7/2（日）開催「ホストファミリーのつどい」で、旅行会社より詳しく説明します。

### パッキングの際の注意点

- (1) 出発当日に慌てなくてすむように、荷造りは必ず前日までにしましよう。航空会社による手荷物等の規制がありますので、子ども大使のお手伝いをお願いします。
- (2) 機内に持ち込める手荷物の重量は航空会社によって異なります。1人・20キロまで無料のところが多いですが、それ以上は超過手荷物料金がかかります。事前に体重計で荷物の重量をチェックしておくと安心です。  
機内に持ち込む手荷物は基本的に1人1個まで、預ける荷物もできるだけ1個以内でまとめるようにしてください。
- (3) ハサミ、ナイフ類、先のとがったもの、バット類等は機内持ち込みができませんので、預ける荷物に入れてください。  
おもちゃのナイフや刀、ピストル型の水鉄砲などは、荷物検査で引っかかり、スーツケースを開けて中身を検査されることが多いです。これらを持って帰る場合には、取り出しやすい位置に入れておいてください。
- (4) 液体類の機内持ち込みには制限があります。機内で使う液体物、ジエルなどは小さな容器に詰め、透明で再封可能なプラスチック製袋に入れます。それ以外は預ける荷物に入れてください。
- (5) 花火・可燃性物質・高圧ガス等は、機内持ち込みも、預け入れ荷物の中に入れることもできません。

### 忘れ物について

パッキングの際や自宅を出る前には、「忘れ物は必ずあるもの！」と思って 入念にチェックしてください。

前日に着ていたものを、うっかり洗濯かごや洗濯機に入れっぱなしだった、朝使った洗面用具を置きっぱなしだった、カメラを充電していて、コンセントに差しっぱなしだった…というのは、よくあるパターンです。忘れ物を後で送ることになると、かなりの送料がかかります。APCCでお預かりすることはできませんので、くれぐれもご注意ください。

### 空港での集合

当日は全員が揃うまで、搭乗手続きが出来ません。交通事情により遅れる場合は、APCC事務局またはグループのリーダーまで早急にご連絡ください。また、下記の内容は現在の予定です。空港工事の状況や、混雑具合などによって、変更になる場合があります。7月2日（日）のホストファミリーのつどいにて、最終のお知らせをします。

	国際線	国内線
集合場所	※未定 空港との調整により、決まり次第お知らせします	
集合時間	フライト出発時刻の <b>2時間半前</b>	フライト出発時刻の <b>2時間前</b>

## 【補足】APCC 用語集

APCC では、様々な専門用語が使われます。説明の中でわからない言葉があれば、下記をご参照ください。また、ボランティアスタッフや事務局にも、お気軽に問い合わせください。

### <人や組織などに関連する用語>

用語	意味
<b>APCC (エーピーシーシー)</b>	「アジア太平洋こども会議・イン福岡」の英語訳。 <b>Asian-Pacific Children's Convention in FUKUOKA</b> の略称。
<b>APCC 事務局</b>	NPO 法人 アジア太平洋こども会議・イン福岡の事務局。
<b>JA (ジェーエー)</b>	「こども大使」の英訳、 <b>Junior Ambassador</b> （ジュニア・アンバサダー）の略。 BRIDGE Summer Camp (ブリッジサマーキャンプ)に参加する、各国・地域のこども達。母国を代表する民間の外交官という意味で、「大使」と呼ばれる。 今年（2023年）は各国・地域から、男女 2名ずつ・4名のこども大使が参加。年齢は 11 歳前後で、毎年対象となる生年月日が変わるために、こども大使になれるチャンスは 1 回のみ。
<b>シャペロン</b>	こども大使を引率する成人で、各団に 1 名のシャペロンが所属する。日本滞在中はこども大使に同行し、保護者の役割をつとめる。英語が話せることが条件であり、通訳としての役割もある。 こども大使の「JA」に対して、「CP」と表記されることもある。（英語）Chaperon
<b>ボランティア</b>	APCC 事業に、ボランティアとしてご協力くださる一般市民の方々。中学生からシニア層まで、年間約 700 名近くのボランティアさんが、事業運営に携わる。
<b>海外窓口</b>	こども大使やシャペロンを選抜し、APCC 事業の参加者として福岡に派遣する、APCC の海外パートナー。各国・地域の教育機関や行政、国際交流組織、学校などが多い。
<b>パートナー窓口</b>	APCC のパートナーとなる、福岡県内の市町村や小学校。パートナー窓口として、海外参加者の引き受け、地域で国際交流活動を実施する。ホストファミリーの募集も行う。
<b>部会</b>	ボランティアさんが所属するグループ。各部会には担当する職務があり、部会長や副部会長を中心に、APCC 事業の企画や実際の運営に携わる。
<b>BC (ビーシー)</b>	<b>BRIDGE CLUB (ブリッジクラブ)</b> の略。 BRIDGE CLUB は、APCC に参加し、こども大使を経験した青年たちが、自分たちの国・地域に戻って所属する同窓会組織。自分たちの国で地域貢献活動を行ったり、こども大使の先輩として、これから福岡にやってくるこども大使のトレーニングを行うこともある。現在、世界に 42 のブリッジクラブが存在する。
<b>PA (ピーエー)</b>	「ピース大使」の英訳、 <b>Peace Ambassador</b> （ピース・アンバサダー）の略。 ピース大使は 16 歳以上のこども大使経験者で、各国のブリッジクラブで中心的な役割を果たす。各国のブリッジクラブから、選考を経て毎年 1 名が選ばれ、こども大使・シャペロンと一緒に再度福岡にやってくる。期間中は、こども大使とは異なり、ピース大使向けのプログラムに参加する。 今年（2023年）は、BC プレジデントが APCC に参加するため、ピース大使の参加はなし。
<b>BC プレジデント</b>	各国のブリッジクラブのリーダーで、こども大使経験者。ピース大使も経験していることが多い。今年は、各国の BC プレジデントが、こども大使・シャペロンと一緒に福岡にやってきて、期間中は、BC プレジデント向けの別プログラムに参加する。

<b>BCIO</b> (ビーシーアイオー)	「ブリッジクラブ国際組織」の英訳、BRIDGE CLUB International Organization の略。各国のブリッジクラブを束ねるチームのこと。各国のブリッジクラブでも特に中心となるメンバーで構成され、ピース大使や BC プレジデントの選抜、各国ブリッジクラブの年間活動の支援などを行う。
<b>BCIO マネージメントチーム</b>	BCIO を運営する中心的なメンバーのこと。毎年行われる「ピース大使プログラム」や、今年の「BC プレジデントプログラム」は、彼らが中心となり、企画から運営まで、全て自分たちで実施する。2023 年は、パキスタン・ネパール・ミャンマーより、3 名のマネージメントチームメンバーが来福し、プログラムを運営する。

### <プログラムに関する用語>

用語	意味
<b>オリエンテーション</b>	こども大使やシャペロンが福岡に到着後、時差ボケや移動中の疲れを取って体調を整えたり、他国のことども大使たちとの交流を深めるアクティビティなどに取り組むプログラム。この期間中は、男女の小グループに分かれて、お世話係の日本人ボランティアと寝食を共にし、日本の生活習慣や気候に慣れていく。
<b>マリンハウス</b>	APCC が、英語で「海ノ中道青少年海の家」を呼ぶ際の名称 ※APCC だけが使っている名称のため、正式な英語名とは違います。
<b>スクールビジット</b>	各団のことども大使・シャペロンが、まとまって福岡市内の小学校を 1 日訪問し、交流するするプログラム。福岡市教育委員会との共催事業で、今年は 7 月 18 日に（火）実施。 ※スクールビジットに参加するのは、一部の団のみ。
<b>対面式</b>	こども大使・シャペロンと、彼らがホームステイするホストファミリーが、初めて出会う日。
<b>学校登校</b>	こども大使が、ホームステイ先のホストフレンドが通う小学校と一緒に登校し、小学校生活を体験するプログラム。日本の小学校がどのようなところを理解したり、同年代の日本のことども達と交流することを目的としている。※学校登校は、全てのことども大使が体験する。
<b>パフォーマンスイベント</b>	こども大使が、各国・地域の踊りや歌を披露する、パフォーマンスイベント「We are the BRIDGE フェスティバル」のこと。こども大使は全員ステージに出演する。今年は、7 月 21 日（金）に、福岡市中央区天神のソラリアプラザ 1 F のイベントスペース「ゼファ」で開催。



# 【参考】アジア太平洋こども会議・イン福岡 招聘要項

APCC に参加する海外参加者（こども大使・シャペロン）は下記の招聘要項の内容に基づいて、各国の現地窓口によって選抜・研修されています。（一部抜粋）

## 1. 招聘人数：

各参加国・地域より 4 名のこども大使（男子 2 名、女子 2 名）と名のシャペロン、合計 5 名の団を招聘。

※こども大使の追加希望がある場合は、1 月 20 日までに提出の「参加表明」へ希望の追加人数と理由を添えて、その旨お知らせください。追加希望が出揃い次第、追加が可能かどうかを検討し、後日最終的な参加人数をお知らせします。

## 2. プログラム期間：

2023 年 7 月 15 日（土）～ 2023 年 7 月 25 日（火）

## 3. スローガン：

We are the BRIDGE 一つなげます。世界の夢を—

## 4. APCC ビジョン：

私たち APCC メンバーは、OMOIYARI の心をもった地球市民となり、こどもたちの笑顔あふれる世界を実現します。

## 5. 参加に関する必要事項：

各国・地域の APCC 海外窓口は下記を順守してください。

### a. 参加者の選考

APCC が定める参加条件を満たすこども大使、シャペロンを選考して下さい。こども大使募集の際は広く一般から公募することとし、できるだけ多くのこども達に参加のチャンスを与えるよう配慮して下さい。選考にあたってはこども達の参加意欲や資質を重視し、公平・誠実に行って下さい。また、選抜委員会のメンバー決定にも責任を持って下さい。

### b. 締切期限内の書類提出

「年間スケジュール」によって指定された締め切りを遵守し、書類を提出して下さい。

万一、学校の休日等の関係で提出期限が守れない場合には、必ず前もって APCC 事務局まで連絡して下さい。連絡無しで著しく書類提出が遅れた場合、事業全般の準備・遂行に支障をきたすことになりますので、招聘を取り止めざるを得なくなることがあります。

### c. 事業関連事項の情報伝達

APCC から海外窓口へ送った全ての情報は、必ず参加者へも伝えるようにして下さい。

シャペロンは、出国までに、こども大使に関する情報及び期間中のスケジュールなどプログラムに関する全ての情報を把握しておかなければなりません。同じく、参加することも大使たちやその保護者全員がプログラムの概要や規則を理解できていることを確認して下さい。

### d. 新型コロナウイルス感染症に対する規則

1) 日本国が定める基準に従い、新型コロナワクチンの完全接種（3 回接種）の証明書を提出して下さい。ワクチン接種証明の提出ができない場合は、PCR 検査結果証明（陰性）を提出して下さい。

2) 日本国政府の水際対策により、出発前に必ず健康診断を受け、医療機関が発行する新型コロナウイルスの陰性証明書を持参して下さい。なお、証明書発行費用は参加者または各窓口が負担をして下さい。APCC では負担いたしません。

3) 日本国政府による「新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る措置」に記載されているすべての事項を遵守して下さい。

※注意事項：APCC は各団が自国から福岡まで安全かつ滞りなく入国できるよう、慎重に旅程を組みます。そのため、APCC と旅行会社が福岡への出入国に際し、入国審査や検疫において安全な旅程を確保できない場合、APCC は該当団の渡航を中止する可能性があります。

### e. 事前研修

こども大使、こども大使の保護者、シャペロン、ピース大使に対して必ず出発前に研修を行い、APCC の事業目的及び参加条件、規則が正しく理解出来るよう指導、確認して下さい。

・事前研修にはブリッジクラブメンバー、あるいは過去の APCC の参加経験者にも参加してもらって下さい。

・ホームシックになるこども大使が多いので、可能であれば出発前に親元を離れて外泊する練習として宿泊研修を行って下さい。

・過去の問題点として、こども大使（女子）の生理の対応があります。招聘期間中に初めて生理を迎えたため、本人がとまどい、ホストファミリーのサポートにも応じず、対応に困ったケースが見られました。シャペロンや保護者の協力も得て、生理やその対応について指導を行っておく、自国の生理用品を持参させる等、本人が安心できるよう準備をお願いします。

### f. BRIDGE Summer Camp 参加後

こども大使の選考においては、APCC 参加後も地球市民として思いやりの精神を持った行動を続け、ブリッジクラブの活動にも寄与していくこのようなこども大使の選出が期待されます。また、こども大使への研修では、ブリッジクラブと協力して APCC 参加後に担うべき役割について十分指導をお願い致します。BRIDGE Summer Camp 参加後には、参加したこども達が体験をもとに学びをさらに深めていくフォローアップの取り組み、ブリッジクラブ設立やブリッジクラブ活動の支援にむけた協力をお願いします。

## 6. 参加条件・基準：

### I. こども大使 (JA : Junior Ambassador)

#### 年齢、生い立ち等

1. 2011 年 8 月 1 日から 2012 年 8 月 31 日までに生まれていること。

※こども大使は全員同じ年齢です。窓口担当者は必要に応じ、参加者からの出生届の提出を以って確認して下さい。

2. シャペロンのこども、または親戚ではないこと。

3. 窓口関係者の家族や親戚でないことが望ましい。もし、窓口関係者のこどもや親戚がこども大使候補となる場合は、他の候補者同様、必ず厳正かつ公平な選考過程を経ることを順守してください。

4. 貴国の代表として参加し、自国の文化を紹介できること。また、APCC が旅行やホストファミリーの手配を行う都合上、参加者が代表する国・地域のパスポートを保有しない他国からの移民である場合は選考

確定前に APCC 事務局にご連絡ください。

※日本のホストファミリーは、こども大使との異文化交流を楽しみにしています。日本国籍を有する参加者を選考する場合は、事前に APCC 事務局にご相談ください。

## 5. 異文化交流へのチャレンジ精神

本人自らが BRIDGE Summer Camp への参加を希望し、異文化交流に興味を持ち、日本の生活様式や文化も意欲的に体験しようとするこ

### ・日本の食事

日本の食事に積極的にチャレンジできること。APCC では、ホストファミリーと一緒に同じ食事を楽しむことも大切な交流の一つと考えます。食事提供の際には宗教上の理由で食べることのできないものには注意を払いいますが、ハラルミートなどの特別な宗教食を用意することはできない場合もあります。

### ・APCC 参加後

APCC ビジョンを理解し、BRIDGE Summer Camp に参加した後も地球市民として思いやりの精神を持った行動を続け、ブリッジクラブの活動にも寄与していくこと。

### ・心身共に健康であること

1) 親元を離れ、かつ慣れない国での異文化環境下における約 2 週間の生活に耐えうる健康状態であること。

2) 持病がある場合、薬の服用その他病気の対応も自分ひとりでできること。

3) 重度のぜんそく・アレルギー、その対処が困難な症状を持っていないこと。

※APCC では、食物アレルギーを含む健康上特別なケアが必要な参加者への対応はできません。こども大使を選考する際には、食べられるもの食べられないものを自分で判断でき、大人からの補助なく自分自身の健康管理ができる子どもを選抜するよう徹底して下さい。（こども大使選抜後でも医療診断書で症状が判明した場合は、APCC の判断で参加不可とさせていただく可能性があります。）

### ・以下の規則に従えること

1) 福岡までの行き帰り、および福岡滞在中に、団から離れて単独行動をしてはいけません。

2) 滞在期間中、物品販売、布教活動、私的な行動など、APCC が規定したこと以外の活動に従事してはいけません。

3) BRIDGE Summer Camp 全期間中を通して（ホームステイ期間も含む）、母国の家族や友人など連絡を取り合ってはいけません。

※こども大使が自立して国際交流や新しい友達を作ることに専念するため、福岡滞在中に母国の家族や友人と（電話、E メールなどいかなる手段においても）連絡を取り合うことを禁止しています。そのため、母国との通信を容易にする携帯電話、iPhone、タブレット端末などの通信機器の持参はできません。緊急時など必要な場合は、現地窓口や APCC 事務局を通して速やかに連絡を取ります。

4) お小遣いを持ってくる場合は、APCC が定める 10,000 円（約 US\$100）以内とし、出国前に日本円へ必ず両替を済ませておくこと。日本の銀行では両替できない通貨があり、両替できても到着が週末になると銀行は開いていません。福岡空港に到着した際も、すぐにオリエンテーションキャンプへ移動するので空港内の両替所にも行く時間があります。

5) ホームステイ期間中は、ホストファミリーの決めた規則やスケジュールに従わなければなりません。

また、ホストファミリーは全員英語が話せるとは限りません。言葉の壁を越

えた気持ちの交流ができるように心がけて下さい。ホストファミリーは全てボランティアです。いつも感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。ホストファミリーが進んでそうしない限り、観光や買い物に行くことをせがんではいけません。

### ・こども大使の保護者について

1) APCC のビジョンを良く理解し、賛同していること。  
2) こどものパスポートの取得や必要書類の提出に迅速に対応するなど、APCC に対して常に協力的であること。

3) こどもに随行して福岡に来ないこと。

4) BRIDGE Summer Camp 期間中にこどもに連絡をしないこと。緊急の場合は、現地窓口・APCC を通して速やかに連絡を取ります。

5) 病気や事故、その他止むを得ない事情で直前の参加辞退になった場合でも、キャンセル料の支払いに真摯な対応で臨むこと。

※ こども大使の選抜に関しては、こども大使の保護者も含め総合的に判断を行って下さい。

## II. シャペロン(Chaperon)

### ・APCC のビジョンを良く理解、賛同していること。

・21 歳以上 65 歳以下であること。

・自立した社会人であること。

・英語でスムーズにコミュニケーションが取れ、APCC やホストファミリーと JA との間の通訳ができること。

※ 期間中、プログラムを円滑に進め、重要な誤解を生まないようにするためにも、シャペロンが意思疎通能力を持つことは不可欠です。特に医療上の緊急事態が発生した場合に備え、大変重要な事項です。

### ・心身共に健康であること

1) 慣れない国での異文化環境下における約 2 週間の生活に耐えうる健康状態であること。

2) 持病がある場合、薬の服用その他病気の対応も自分でできること。

3) 重度のぜんそく・アレルギー、その対処が困難な症状を持っていないこと。

※APCC では、食物アレルギーを含む健康上特別なケアが必要な参加者への対応はできません。シャペロンを選考する際には、第三者からの補助なく自分自身の健康管理ができる人を選抜するよう徹底して下さい。（シャペロン選抜後でも医療診断書で症状が判明した場合は、APCC の判断で参加不可とさせていただく可能性があります。）

4) 妊娠していないこと。

※ シャペロンとして選抜された後に妊娠が発覚した場合には、母体と胎児の安全を考慮し、参加を取り消します。その場合、速やかに APCC へ連絡し、代わりのシャペロンを選考してください。

### ・家族を福岡へ随行させないこと。

・滞在期間中、物品販売、布教活動、私的な活動など、APCC が規定すること以外の活動に従事しないこと。

・ホームステイ期間中は、ホストファミリーの決めた規則やスケジュールに従うこと。

1) 日本の家庭にホームステイをして交流できること。日本の生活様式や文化に興味を持ち、またそれらを体験しようとする積極性を持っていること。

2) ホストファミリーは全てボランティアです。いつも感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

・APCC の規則を遵守し、全ての必要書類を規定期限内に提出できること。

・携帯電話、iPhone などの通信機器は持参して構いませんが、キャ

## **ンプ期間中、ホームステイ期間中は必要最低限の使用としてください。**

- 1) 使用できる場所、時間帯などに制限がある場合があります。
  - 2) こども大使たちには、BRIDGE Summer Camp での交流に専念するため、母国との通信を容易にする携帯電話、iPod/Pad/phoneなどの通信機器を持参することを禁止しています。こうした事情、禁止の理由を充分理解し、引率者・ロールモデルとしての立場を踏まえた上で、自身の携帯電話等通信機器の利用も必要最低限としてください。
- ・**BRIDGE Summer Camp 終了後、プリッジクラブの活動を支援・協力できること。**

- ・**シャペロンは期間中、こども大使の指導と援助ができなければなりません。**

## **7. APCC の費用負担範囲について :**

- a. APCC が指定する貴国空港から福岡までの往復航空運賃・空港税（最後のページにある「空港リスト」を参照下さい）
- b. APCC あるいはホストファミリーが指定したスケジュールに従うことにより必要となる日本国内での交通費
- c. APCC あるいはホストファミリーが指定したスケジュールに従うことにより必要となる日本国内・国外での宿泊費
- d. 福岡滞在中の食費（朝食、昼食、夕食）

### **注意事項：以下の費用は APCC からは負担されません。**

- ① 参加者の家から APCC が指定する貴国の空港までの移動交通費
- ② パスポート及びビザ取得費用
- ③ 個人的な理由で発生する一切の費用
- ④ JA・PA・シャペロンの小遣い、シャペロンの日当

※参加者の個人的な行動に伴う交通費や食費等は、各自で負担してもらうことになります。

※ホストファミリーの事情により、日中シャペロン・ピース大使が単独で行動をする場合、それに伴う交通費・食事代などは、自身で負担することがあります。

## **8. APCC 期間中の事故や病気に対する保険について :**

- ・APCC が、全参加者分の海外旅行者損害保険に加入します。
- ・期間中に参加者に起った全ての怪我や病気に対して保険が適用されます。

※新型コロナウイルス感染症に対する保険適用範囲は、状況や諸条件により異なる場合があります。

- ・保険は参加者が APCC 指定の貴国空港を出発して、指定空港に戻るまでの全日程が適用範囲となります。

※歯科治療、喘息などの既往症は保険適用外です。よって、治療の際は治療代が自己負担となります。APCC は負担しません。既往症への投薬も保険対象外です。現在、服用中の処方薬がある場合は、各自で持参するようにして下さい。

## **9. 招聘母体 :**

**NPO 法人 アジア太平洋こども会議・イン福岡 (APCC)**

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前 2 丁目 8-1 博多区役所 9 階

TEL : 092-710-6102 / FAX (092)710-6103

E メール : office@apcc.gr.jp

ホームページ : <https://www.apcc.gr.jp>

# We are the BRIDGE

この広い世界 両手をひろげて  
そっと笑顔でつつもう  
心に国境はない

手をつないだら いっしょに歩き出そう  
誰もみんな きっと素晴らしい  
翼を持ってるから

- ※ We are the BRIDGE 心と心を  
希望の橋でつなぐ  
夢を追いかけて  
立ち止まらないで  
明日が待っている  
We are the BRIDGE みんなの笑顔が  
輝く虹に変わり  
胸にあふれてる  
夢は必ず叶うよ  
信じていて

悲しい時でも ひとりきりじゃない  
そばに仲間かいること  
いつでも忘れないでね

見上げてごらん 夜空に光る星が  
どんなときも 僕たちの未来  
明るく照らしている

We are the BRIDGE みんなの笑顔が  
輝く虹に変わり  
胸にあふれてる  
夢は必ず叶うよ  
信じていて

たとえ言葉が違っても  
同じほし（地球）の仲間  
さあ 手をとりあって歌おうよ  
願いはひとつ・・・

- ※ 繰り返し

胸にあふれてる  
夢は必ず叶うよ  
信じていて

作詞/作曲 : 坂本 学  
補作曲 : 鳥山 雄司  
補作詞 : 横山 武

Words & Music by : Manabu Sakamoto  
Additional Music by : Yuji Toriyama  
Additional English Words by : Linda Lavallee

Sometimes  
It's hard to make a friend  
We talk  
But words keep us apart  
But with hope  
And Love and understanding  
We find we speak  
The same language in our hearts

This world has room for us all  
And we could be one happy family  
So let's stand hand in hand  
And sing our song together  
And we can make it better  
Wait and see

- \* We are the BRIDGE of love  
From heart to heart  
We have a dream  
For everyone to share  
All our tomorrows bright and new  
Starting here and now, me and you  
The bridge we build  
Will take us there
- \*\* We are the BRIDGE of love  
From friend to friend  
A rainbow bright  
When all the rain is through  
And if we listen to our hearts  
Keep our eyes upon a star  
Then someday soon  
All our dreams will come true

Sometimes  
The road may seem so long  
We walk  
But there's so far to go  
But each step  
Will take us that much closer  
So don't give up  
We'll be there before you know

This world is home for us all  
And we could be one happy family  
So let's stand hand in hand  
And join our hearts together  
And we can make it better  
Wait and see

- \*\* Repeat
- And when we're lonely  
And we feel a little lost  
If we just care for one another  
You know there are no fences  
And no borders we can't cross  
When we are joined together

- \* Repeat
- \*\* Repeat
- And if we listen to our hearts  
Keep our eyes upon a star  
Then someday soon  
All our dreams will come true

# We are the BRIDGE

**APCC**

NPO法人 アジア太平洋こども会議・イン福岡

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-8-1 博多区役所9F

TEL: 092-710-6102 FAX: 092-710-6103

Email [hello@apcc.gr.jp](mailto:hello@apcc.gr.jp) • ホームページ <https://www.apcc.gr.jp/>